

学校教育目標	・よく考える子 ・思いやりのある子 ・たくましい子	ビジョン	【目指す学校像】	・子供が願いをもって、生き生きと学習し、思いやりの心をもって明るく活動し、健康や安全に気を付けて力一杯運動している学校
			【目指す児童・生徒像】	・伝え合い・学び合い・高め合う子供
			【目指す教師像】	・教育公務員として自覚をもち、協働体制を確立し、教育活動を推進する教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎・基本を大切に、分かる授業の実践に努める。(休校時の学習内容の定着・授業改善・学習指導要領の完全実施)	読み書き、四則計算の力を定着させる。	授業、ベーシックドリル、eラーニング、日常の書言いうテスト、力試し、補教教室宿題、家庭学習、ラボ等	4 漢字、計算の定着を90%以上図った。 3 漢字、計算の定着を80%以上図った。 2 漢字、計算の定着を70%以上図った。 1 漢字、計算の定着を70%未満。	2	4 ベーシックドリル正答率80%以上 3 ベーシックドリル正答率66%~79%以上 2 ベーシックドリル正答率65% 1 ベーシックドリル正答率65%未満	2	学力の結果は昨年並みであった。学年差、個人差の少なくなっていくことが課題である。	コロナの関係で休校措置もあったが、学力はしっかりと今後とも定着する努力や工夫をしてほしい。	B	めあてを明確にして基礎基本をしっかりと定着させる。そのために日々の授業改善をさらに図っていく。
		朝読書、読書旬間等で意欲を高め、学年相応の読書をさせる。	月曜日、金曜日の朝読書、図書館利用、図書貸出し活用、読み聞かせ、昭島エンシスの勧め	4 読書計画に基づいての実施率100% 3 読書計画に基づいての実施率90% 2 読書計画に基づいての実施率80% 1 読書計画に基づいての実施率80%未満	2	4 目標冊数・ページ数の達成率95%以上 3 目標冊数・ページ数の達成率87%以上 2 目標冊数・ページ数の達成率80%以上 1 目標冊数・ページ数の達成率80%未満	2	数値的には80%であるが、読書量の個人差が大きい。本との出会う機会を多く設けることが課題である。	家にいる時間が多くなったので、ゲームの時間少しでも読書に向けるように家庭への協力をさらに促してほしい。	C	目標達成の子を紹介し意欲を高めていく。図書計画の実施率をあげるとともに、図書環境を整備していく。
		学年相当の時間(学年×10分)に基づいた家庭学習を推進させる。	自己の課題克服 グットライフ調査 宿題+自学自習	4 各学年家庭学習実施率95%以上 3 各学年家庭学習実施率92%以上 2 各学年家庭学習実施率90%以上 1 各学年家庭学習実施率90%未満	2	4 授業は分かりやすい99%以上 3 授業は分かりやすい97%~98% 2 授業は分かりやすい96% 1 授業は分かりやすい96%未満	3	アンケートより「授業が分かりやすい」が97,6%に伸びた。落ち着いて学習に取り組んでいる。	授業が分かりやすくなったことは良い。先生方にさらに努力をしていただきたい。	B	復習に重点を置いて、家庭と連携して家庭学習の実施率をあげる。
豊かな心	生命を尊重し互いに認め合える、豊かな心を育てる。	様々な体験を通して、心の交流を(児童・教師)図る。	縦割り班活動 奉仕御活動 栽培活動、人権の花 通常の学級と固定学級	4 児童の積極的参加を100%にする。 3 児童の積極的参加を90%にする。 2 児童の積極的参加を80%にする。 1 児童の積極的参加を70%にする。	2	4 相談できる先生がいる100% 3 相談できる先生がいる95%以上 2 相談できる先生がいる94% 1 相談できる先生がいる94%未満	2	「相談できる大人はいますか」と質問の内容は変化したが、91%の回答を得た。	質問が「先生」から「大人」に広がった。地域でも気軽に子供に声かけできるように意識していく。	B	縦割り班活動等を活性化し長期的に交流を深めていく。ICT機器も活用する。
		教室・学習環境を見直して、すべての児童にやさしい学校・学級にする。	児童理解に努め、個に応じた指導を進める。	4 市UDチェック④⑤項目できている。 3 市UDチェック③⑧項目できている。 2 市UDチェック⑦項目できている。 1 市UDチェック⑦項目未満できている。	2	4 落ち着いて生活できている95%~100% 3 落ち着いて生活できている87%~94% 2 落ち着いて生活できている86% 1 落ち着いて生活できている86%未満	3	落ち着いて生活できている子供は4%増えた。行事に追われることなくゆったりと時間が流れている。	子供たちに寄り添って、メリハリのある指導をこれからも指導してほしい。	B	年度当初「昭島市立学校教育のユニバーサルデザイン」の共通理解を深め活用していく。
		学校生活をより楽しいものにする。	授業、特別活動、交友関係の充実	4 楽しくする工夫をしているか90%以上 3 楽しくする工夫をしているか85%以上 2 楽しくする工夫をしているか80%以上 1 楽しくする工夫をしているか80%未満	3	4 学校生活は楽しい96%以上 3 学校生活は楽しい89%~95% 2 学校生活は楽しい88% 1 学校生活は楽しい88%未満	3	楽しく生活している子供は90%いる。残り10%の子供のためにさらに工夫していく。	地域でもできるだけ子供とかわるようにして、楽しい思い出をたくさん作ってやりたい。	A	子供に声かけをし寄り添う。子供とともに学び・遊ぶことを通して、充実した学校生活を創りだす。
健やかな体	丈夫な体とたくましい心を育てる。	児童の基礎体力の向上を図る。	元気アップガイドや学習カードを活用して、運動の学び方を身につけ体力をつける。	4 元気アップガイドの活用週3回以上 3 元気アップガイドの活用週2回以上 2 元気アップガイドの活用週1回 1 元気アップガイドの活用週1回未満	3	4 体力が付いてきている95%以上 3 体力が付いてきている91%~94% 2 体力が付いてきている90% 1 体力が付いてきている90%未満	2	思う存分に体を動かすことができなかつた。一人できる体力アップの方法を広めていく工夫(カード)をしていく。	健康第一。自分の体を守り作る教育をしっかりと今後継続してほしい。	B	家庭でモーニング60分を啓蒙していく。元気アップガイドの活用計画を図り、準備運動等に組み込んでいく。
		健康教育、食に関する指導を推進する。	担任の声かけ 視覚的な掲示 食のバランス意識 残さいのおにぎり換算	4 週のうち完食が4回 3 週のうち完食が3回 2 週のうち完食が2回 1 週のうち完食が1回	2	4 給食残さい率2、3% 3 給食残さい率2、4% 2 給食残さい率2、5% 1 給食残さい率2、5%未満	3	給食のルールも定着して、11月から残さい率が急減してきている。1%未満の日も多くなりつつある。	何不自由のない時代、食べ物大切に教育「もったいない」を教えていただきたい。	B	健康と食べ物との関係や自校の残さい率等を知らせ、食に対する意識をさらに高めていく。
		自分の命は自分で守る。	手洗い、うがい、咳エチケット、体温、三密等	4 自己の健康管理と他への配慮事項 3 いつでも、どこでも実践するよう指導 2 校庭→校舎内、給食時の指導 1 給食時の手洗い指導	3	4 保健室けが病気来室割合1.9%以下 3 保健室けが病気来室割合2.6%~2.0% 2 保健室けが病気来室割合2.7% 1 保健室けが病気来室割合2.7%以上	3	衛生に関する意識が高まりマスク着用をはじめ三密回避を日常的に行っている。	コロナ禍の中、しっかりと自分の健康や人の健康を守る教育をしてほしい。	A	今後も新しい生活様式をしっかりと身に付けさせていく。
輝く未来	自分の将来を見つめ、自らの生き方を考える力を育てる。	将来の夢を児童にもたせる。	職場体験 マイキャリアシート 家族の職業について理解を深めさせる	4 生き方について考える機会を与えた71%以上 3 生き方について考える機会を与えた63%~70% 2 生き方について考える機会を与えた62% 1 生き方について考える機会を与えた62%未満	3	4 将来について考えることがある90%以上 3 将来について考えることがある84%~89% 2 将来について考えることがある83% 1 将来について考えることがある83%未満	3	社会や家庭の状況から「命や職」に対する認識が高まって、自分の将来に意識が向いた。83%→89%	昭島のよさや今やるべき勉強をしっかりとやる事が将来に通じることを教えてほしい。	A	昭島の良さを体感させ「昭島大好き」の子供たちを育成していく。ICT機器を活用する。
		基本的生活習慣の確立を図る。(今やるべきことの確認)	早寝、早起き、朝ごはん	4 90%以上の教員が意識して家庭・児童への啓蒙をした 3 86%~90%の教員が意識して家庭・児童への啓蒙をした 2 71%~85%の教員が意識して家庭・児童への啓蒙をした 1 70%以下の教員が意識して家庭・児童への啓蒙をした	2	4 早寝、早起き、朝ごはんを実践できた96%~100% 3 早寝、早起き、朝ごはんを実践できた91%~95% 2 早寝、早起き、朝ごはんを実践できた84%~90% 1 早寝、早起き、朝ごはんを実践できた84%未満	2	感染症予防をはじめ、新しい生活様式が定着しつつある。しっかりと習慣づけた。	規則正しい生活が、健康や勉強、運動、意欲に繋がることを教えてほしい。	B	今だからこそ、やるべきことを年間を通して、しっかりと確認し実行していく。